

科目分類	統合分野	学 年	3 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	臨床看護の実践	学 期	後 期	中島 美和子（看護教員）
		単 位 数	1	
		時 間 数	15	
目 的	これまでの学習を通して構築した倫理観と看護に対する考え方（看護観）をもとに、看護実践能力の主軸となる知識的側面と技術的側面の到達度を評価し、看護師としての課題を明確にできる。			
目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護師としての倫理観（看護倫理）に基づいた自己の看護に対する考え方（看護観）について考察する。 2. 事例患者のおかれている状況を考察し、援助を判断する。 3. 倫理観と看護に対する考え方（看護観）に基づき、判断した援助を行動化する。 4. 自己の看護実践の振り返りやグループワークを元に、自己の課題を明確にする。 5. 臨床に出て実施頻度の高い点滴・静脈注射の技術を高め、今後に対する自信を強める。 			
授業計画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	看護の基本となるもの	看護職と倫理 看護に対する考え方（看護観） 看護の3要素	講義
2	事例提示	演習オリエンテーション 事前学習内容に取り組む	講義 個人ワーク	
3・4	課題学習	記録用紙1・2	個人ワーク	
5	技術演習	第3回・4回の時、課題学習と並行して 1人ずつ点滴・静脈内注射（ワンショット） の技術チェックを演習します。	演習	
6	技術演習	心筋梗塞事例	演習	
7	振り返り	COPD事例 私の看護観は？ 倫理的に考えて何が大切か 知識は十分だったか 実践はうまくできたか	グループ ワーク	
8 (45分)	課題学習	個人の課題を明らかにする 記録用紙3	個人ワーク	
教科書	全ての教科書			
参考文献	その都度紹介します。			
評価方法	提出物 50%、グループワーク参加度・技術演習 50% 評価は上記の総合評価とする。			
関連科目	全ての科目			
自己学習に関する指針	これまで学習したことの総まとめ的な科目です。 看護技術についてはシミュレーション室等を使ってしっかり練習してください。			
その他の 通知事項	グループ活動はそれぞれの役割をしっかりと果たして下さい。 事例に対する課題では、質問に随時応じます。			